

往復はがきで笑顔と安心



井原小学校の生徒が絵手紙を作成

安心
 こんばんは。
 元気ですよ！



白木町の井原地区社会福祉協議会では、平成26年2月から往復はがきを使い、1人暮らし高齢者や障害者の見守り事業「えがお便」を行なっています。

利用を希望する60～90歳代の30人を対象。往復はがきに民生委員児童委員や地区社会福祉協議会のメンバー及び地域の子どもたちが、地元行事のお知らせや詐欺などの犯罪への注意を呼び掛けるメッセージを書いています。返信用はがきでは、体調や食事、心配ごとの有無などの近況を伝えてもらい、高齢者の安否確認と地域の見守り活動として取り組んでいます。



【返信はがきでの自由記述欄の中を一部抜粋】

心弾む出来事

- ・子どもや孫が会いに来てくれること
- ・友人との食事や買い物
- ・カープが試合に勝つこと

腹の立つこと、嫌なこと

- ・鹿が家の近くまで来ること
- ・物忘れが時々ある
- ・カープが試合に負けること

初夢を見ましたか

- ・今は亡き夫が出て来て、夢でもうれしかった。
- ・1千万円の宝くじが当たった

目次～主な内容～

- 井原地区社協えがお便の取り組みについて…………… P1
- 広島豪雨災害体験談集CD版他…………… P4
- 高陽東高校ボランティア部の活動紹介他…………… P2
- 復興連携センターすまいる活動紹介…………… P5
- ボランティアステップアップ研修会報告他…………… P3
- 地域福祉センター利用案内等…………… P6

この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金を一部充当して作成しました。

高陽東高校ボランティア部の活動紹介



倉掛公民館まつりで
応援部のボランティア
(11月15日)



倉掛のぞみ園での
夏祭り介助ボランティア
(8月20日)

高陽東高校生徒会は昨年9月にボランティア同好会(会員約200人)を結成して地域に貢献しています!

私たちの原点は一昨年8月の災害復興ボランティアです。

あの時、全校生徒で取り組んだ気持ちは「被災者の力になりたい」。

でも災害現場で励まされたのは私たち自身でした。

被災された方の「ありがとう」の言葉に、いたわりと優しさがありました。その言葉に報いることができるのはこれからです。

あの時の気持ちを忘れず、様々なボランティア活動を続けていきたいと思えます。



可部東での
土砂災害ボランティア
(10月25日)



中区での
募金ボランティア
(10月17日)



安佐南区社協
ボランティアフィールド
段ボールベッド作り
(12月12日)

白木地区の交通の確保について

白木地区(井原・志屋・高南・三田)においては、交通課題(移動手段)の問題は深刻なものがああります。公共交通機関はあるものの十分なものとはいえず、日々の通院、買い物等で外出する際には自宅からバス停等までの往復にさえ困難が生じているのが現状です。

そこで、本会では、白木地区4地区社協と連携して、約4千世帯を対象にしたアンケートを実施しました。

調査結果は集計、分析などしてお知らせし、今後の生活交通の確保策に生かしていきます。



楽しかったね!

ボランティア ステップアップ研修会



2月9日(火)に行われた研修会には84人の参加がありました。今回は三ヶ本妙子さんをお招きして「オレオレ詐欺」の寸劇やボランティアの心構えをお話ししていただき、これからのボランティア活動を進めていくうえで大きな支えとなった楽しい1日となりました。

講師の三ヶ本妙子さんの講演前に地域の方々による寸劇が行われました。「オレオレ詐欺」についてわかりやすく、面白い中にも緊張感のある寸劇でたいへん有意義でした。

続いて、講演では講師の三ヶ本妙子さんに、テーマ「一人はみんなのために みんなは一人のために」をメインにお話をしていただき、また参加者からもさまざまなご意見をいただき、これからのボランティア活動を進めていくうえで大きな支えになったと感じました。

参加者からの感想

- 今一度、ボランティアを考えてみる良い機会になりました。
- 私に何がしてもらえるかだけでなく、私に何が出来るかを心掛けること。
- ボランティアについて、もう一度考えてみたい。
- 当たり前のことに感謝すること。
- 元気であることは、地域とのつながり(ボランティア)を持つこと。



ご存知ですか 点字ブロックの日!

点字ブロックは、目の不自由な方たちと社会とをつなぐ架け橋となる大切な存在です。昭和42年3月18日に世界で初めて岡山市に敷設されたことから、この日を「点字ブロックの日」としており、目の不自由な方たちへの理解や点字ブロックの啓発等に向けた活動が行われています。

安佐北区では「広島市視覚障害者グループ連絡会」の皆さんが下記の日程で目の不自由な方たちへの理解(困っている時の声のかけ方等)に関するチラシの配布をされますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

日時 平成28年3月18日(金) 11:30~12:30(雨天決行)

配布場所 ①サンリブ可部店様 店舗入口周辺
②山陽マルナカ可部店様 店舗入口周辺

お問合せ先

広島市社会福祉協議会

電話: 082-243-0051

広島市安佐北区社会福祉協議会

電話: 082-814-0811

白杖 SOS シグナルにご協力ください

白杖 SOS シグナルとは、視覚障害者の方が外出時に道に迷った時や災害時にどう避難したらいいのか分からない時などに、白杖を頭上に掲げて周囲の人に手助けを求める合図のことです。この合図は社会福祉法人福岡県盲人協会が考案し、社会福祉法人日本盲人会連合等の働きかけのもと全国への普及活動を進めています。

写真のように頭の上に白い杖を50cm上げた合図を見かけましたら、「何かお困りですか?」、「どちらへ行かれますか?」等、気軽にお声かけください。

ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



「平成26年8月20日 広島豪雨災害体験談集」

CD版の作成について

視覚障害者の方に一昨年の土砂災害の体験をお伝えすることを目的に「音声訳ボランティアあか音の会」のご協力により作成しました。

本CDは視覚障害者への情報提供を目的としたデージー図書です。再生にはプレトーク専用の機材が必要ですが、音声データは一般のパソコンでも開くことができます。



新しい仲間

平成26年8月20日の広島豪雨災害により全壊した障害者施設「八木園」(安佐南区)が平成26年11月4日に安佐北区に移転しました。広島県職員の独身寮を改装し、5年間無償で借りることになりました。どうぞよろしくお願いたします。

社会福祉法人 **やぎ** 就労継続支援B型八木園

開所日時 月曜日～金曜日(9:00～16:00)

連絡先 〒731-0232 安佐北区亀山南三丁目15番28号

TEL:(082)516-7173 FAX:(082)516-7174



お蔭様で私たちは元気です!

ひろしま北部若者サポートステーション



15歳から39歳の方の進路に向けた相談、セミナー、職場・ボランティア体験などの支援を行なっています。「働きたいけど、どうしたらよいのかわからない」、「自信が持てず一步を踏み出せない」、「コミュニケーションが苦手」、「人間関係でつまずき、退職後のブランクが長くなってしまった」等、働くことに悩みを抱えている若者の就労を支援しています。

ぜひ、お気軽にご相談いただければと思います。

対象

15歳～39歳の
未就学・未就労の方

どんなことができるか

- ・就労に向けた相談
- ・集団でのワークを通じたコミュニケーション演習
- ・協力企業での職場体験

開所時間

[月曜日～金曜日]
10:00～17:00
[土曜日]
10:00～16:00
(日曜日・祝日は
休館日です)

連絡先

安佐北区可部南5-13-21
第二高松ビル1階
電話:082-516-6557

復興連携センター すまいる 活動紹介

しんだて
可部東6丁目新建自治会

30年ぶり とんど焼き復活!



一年の無病息災を願って!



竹筒でもち焼き

1月17日(日)に開催された「新建とんど焼き」。
100人以上の皆さんが根之谷川流域の河原に集まりました。
今回のとんど復活に一役買ったのが、理事の藤原さん。災害をきっかけに若い力の必要性を強く感じ、とんど焼き実行委員会の中心的役割を担った宮本さんと共に約30年ぶりの復活となるとんど焼きを計画。地域内の若い人達と共に、老いも若きも一丸となった催しとなりました。当日は『ミラクルすまいるカフェ新建』のメンバーもぜんざい等をふるまい、寒い中、参加された皆さんは美味しそうに食べておられました。

すまいると
愉快的な
仲間たち

ご紹介するのは、三入の坂元タシ子さんです。昭和7年8月10日生まれの83才。土砂災害では床上浸水の被害により、中応寺ファミリー集会所、三入東小学校、そして可部南へと約1年5カ月間の避難生活を経験されました。当時を振り返り、「現実に気持ちがついてこなかった」と話されるタシ子さん。現在では昨年12月に自宅に戻り、避難生活の間中止していた配食活動にも3月より復帰されます。タシ子さんが所属している在宅介護支援「いきいきグループ」では、20人が月2回の(8月を除く)配食ボランティアを行っていらっしゃいます。最後に、若い世代の方々と一緒にボランティア活動をやっていたらと話していらっしゃいました。



三入・中応寺ファミリー
坂元タシ子さん(83才)

坂元タシ子さんからのメッセージ

「私は平成26年8月20日の土砂災害の時に、皆様に助けにいただいた坂元タシ子です。20年間配食サービスのボランティアをしています。在宅介護支援「いきいきグループ」は楽しい会なので、遊びがてら一度見学に来てください。若いユニークな方、お待ちしております。」

安佐北区地域福祉センター

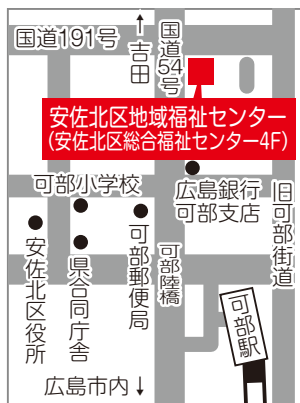
市民の自主的な福祉活動支援し、地域福祉の増進を図るために設置されています。福祉を目的とするグループやボランティアグループは無料でご利用いただけます。



【所在地】広島市安佐北区可部三丁目19番22号
安佐北区総合福祉センター4階・5階・6階

【休館日】
毎月第3日曜日、8月6日、
年末年始
(12月29日～翌年1月3日まで)
【開館時間】
9:00～21:00

※施設詳細、申込方法など、
詳しくはお問合せください。
【お問合せ先】
電話082-814-0811



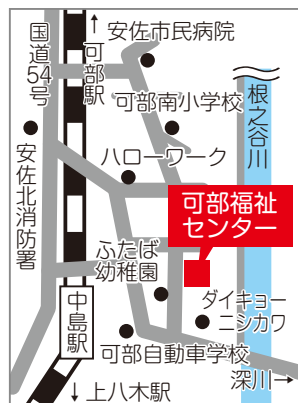
広島市可部福祉センター

福祉目的内利用は無料です
※印の付いた部屋のみ、福祉センターの事業目的以外に
使用できません(有料)

【所在地】広島市安佐北区可部南二丁目23-28
【休館日】火曜日、祝日の翌日、年末年始
【開館時間】9:00～22:00
【お問合せ先】電話082-815-6480

	内容
2階	※ホール 講演会・集会等に
	※研修室 各種研修会・会議に
	※展示室 会議・展示の場として
1階	※娯楽室 会議に(和室)
	トレーニングルーム 卓球など
	図書室 閲覧・貸出できます
プール	児童等の水遊びの場として

(プール:7月20日～8月31日 11:00～16:00)
指定管理者
社会福祉法人 広島市安佐北区社会福祉協議会



広島市安佐北区社会福祉協議会のホームページをご参照ください <http://shakyo-hiroshima.jp/asakita/about/index.html>

弁護士無料法律相談のお知らせ

広く住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言、援助を行い、地域住民の福祉増進を図ることを目的として、弁護士による無料法律相談を開催します。

相談内容 相続・遺言・多重債務・自己破産・
契約トラブル・成年後見など

相談日時 平成28年4月20日(水)
13:00～16:00

会場 安佐北区可部三丁目19番22号
安佐北区総合福祉センター

受付開始日 平成28年3月22日(火)

定員 6名(定員になり次第締め切ります。
相談時間は1人30分)

申込 広島市安佐北区社会福祉協議会
電話082-814-0811

★編集後記★
一昨年夏の広島豪雨災害において、多くの若者が土砂撤去、写真洗浄ボランティアなどの活動をしました。大人でもなかなかできない、自ら課題を発見し解決していく力、自分で考え判断し行動する力、人としてつながっていく力を実践していると感じました。それぞれが今何ができるのか、何をすべきか考えた行動であり、私たち大人も見習わなければと感じた出来事でした。

福祉サービス利用援助事業 かけはし

毎日の暮らしの中にはいろいろな不安や疑問、判断に迷うことがたくさんあります。

福祉サービス利用援助事業「かけはし」はこのような場合に、福祉サービスの利用手続きや金銭管理のお手伝いをしていき、安心して暮らしていけるよう支援します。

自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方やお金の管理に困っている方などが利用できます。

認知症高齢者、知的障害や精神障害により、判断能力が不十分な方で、サービスの利用意思があり契約能力のある方が対象になります。

●相談は無料です。●サービスは有料です。

サービス内容	利用料
福祉サービス利用援助 日常的な金銭管理サービス	生活支援員による訪問1回 (約2時間)につき1,500円
書類など預かりサービス	1か月1,500円

※生活保護世帯は、利用料負担が免除されています。

専門的な知識のある職員がご自宅などに訪問します。
プライバシーに配慮し、秘密は守りますので、どうぞお気軽にご相談ください。

【お問合せ先】
広島市安佐北区社会福祉協議会 TEL 082-814-0811



〈一般〉
山下 武志 様

安佐北区社協に、みなさまより多額のご寄付をいただきました。みなさまの厚意に感謝申しあげ、ご報告いたします。
平成28年1月1日
平成28年2月29日

愛の灯